慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	EATnavi : ライフコンテンツを共有するプラットフォームの構築
Sub Title	EATnavi Social media for life contents communications Services.
Author	Deng, Jie.(Sugiura, Kazunori) 杉浦, 一徳
Publisher	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科
Publication year	2011
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	本研究では、食べ物の写真と食べ物翻訳システムを利用することで、食文化の違いを伝え、コンミュニケーションを促進するライフプラットフォームを構築する。インターネット技術の発達で、様々なプラットフォームが提供される。しかし、信頼性が低い情報の氾濫による社会不安、個人の時間浪費という問題も生じる。また、言語問題によるコミュニケーションが困難により、価値がある生活情報を獲得する機会がなくなるという問題もある。本研究はは生活に役に立つ情報が発信し、言語の制限受けない機能を持つ、理想的ななライフコンテンツを交換するプラットフォームを提案した。それに従って、EATnaviという食べ物の写真の交換、味の表現をするアイコン、数値を利用してコミュニケーションを行うプラットフォームを実装した。飲食店で注文した食べ物や自分が作った料理の写真を携帯やパソコンなどを通じて、リアルタイムに「EATnavi」に投稿し、異なる国のユーザーに向けて公開する。他の国や地域の食べ物の写真をみたり、食べ物翻訳システムを利用し、他の食べ物の写真を評価させるコミュニケーションを行わせ、異なる食べ物の経験の共有する事により、異文化に関する理解を深め、より豊な「共生社会」を進化させる。実装したライフプラットフォームについて評価実験を行った。その結果は生活に役立つライフコンテンツの発信が実現し、そのサービスもユーザに利便性をもたらすことが明らかになった。
Notes	修士学位論文. 2011年度メディアデザイン学 第181号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40001001-00002011-0181

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2012 年度　　修士論文

EATnavi:ライフコンテンツを共有するプラットフォームの構築

KEIO MEDIA DESIGN

慶應義塾大学大学院
メディアデザイン研究科

DENG JIE

本論文は慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科に
修士 (メディアデザイン学) 授与の要件として提出した修士論文である。

DENG JIE

指導教員：

杉浦 一徳 准教授　(主指導教員)

砂原 秀樹 教授　(副指導教員)

審査委員：

杉浦 一徳 准教授　(主査)

砂原 秀樹 教授　(副査)

岸 博幸 教授　(副査)

EATnavi:ライフコンテンツを共有するプラットフォームの構築

内容梗概

本研究では、食べ物の写真と食べ物翻訳システムを利用することで、食文化の違いを伝え、コンミュニケーションを促進するライフプラットフォームを構築する。インターネット技術の発達で、様々なプラットフォームが提供される。しかし、信頼性が低い情報の氾濫による社会不安、個人の時間浪費という問題も生じる。また、言語問題によるコミュニケーションが困難により、価値がある生活情報を獲得する機会がなくなるという問題もある。本研究はは生活に役に立つ情報が発信し、言語の制限受けない機能を持つ、理想的ななライフコンテンツを交換するプラットフォームを提案した。それに従って、EATnavi という食べ物の写真の交換、味の表現をするアイコン、数値を利用してコミュニケーションを行うプラットフォームを実装した。飲食店で注文した食べ物や自分が作った料理の写真を携帯やパソコンなどを通じて、リアルタイムに「 EATnavi」に投稿し、異なる国のユーザーに向けて公開する。他の国や地域の食べ物の写真をみたり、食べ物翻訳システムを利用し、他の食べ物の写真を評価させるコミュニケーションを行わせ、異なる食べ物の経験の共有する事により、異文化に関する理解を深め、より豊な「共生社会」を進化させる。実装したライフプラットフォームについて評価実験を行った。その結果は生活に役立つライフコンテンツの発信が実現し、そのサービスもユーザに利便性をもたらすことが明らかになった。

キーワード

食べ物写真, アイコン, SNS, コミュニケーション, 行動

慶應義塾大学大学院　メディアデザイン研究科

DENG JIE

EATnavi Social media for life contents communications Services.

Abstract

This study discusses the development of a social media that uses photo and food translation system to spread the culture of food with different countries to promote the cultural exchange. Users from different parts of the world would upload photos from their mobile phones or PC on EatNavi of foods they have ordered at a restaurant or dishes they have made. EatNavi is a system that allows users to view photos of food from different countries and region and evaluate the food through a food translation system. Users use icons and photos to communicate instead of text. The method of communication has advantages in overcoming the restrictions of written language barriers. By this method, people from more countries can publish their own opinions about the food and share them with other countries. From this act of sharing different food experiences, the users can better understand each others different cultures.

Keywords:

Food Photo, Icon, SNS,Communication, Action

Graduate School of Media Design, Keio University

DENG JIE